

ブロンソン/ビセット待望の初顔合せ!
謎の女の微笑に仕掛けられた巨大な陰謀—

St Ives



チャールズ・ブロンソン
ジョン・ハウスマン
マクシミリアン・シェル
ジャクリーン・ビセット

〈ナバロンの要塞〉の巨匠
J・リー・トンプソン監督
〈燃えよドラゴン〉の名手
ラルフ・シフリン音楽

セントアイブス

テクニカラー



セントアイブス

St Ives

セント・アイブス……チャールス・ブロンソン
ジャネット……ジャクリーン・ピセット



*解説

熱い街ロサンゼルスに今、何かが起ころうとしている。元一流の事件記者セント・アイブスがまきこまれた殺しと盗みの巨大な陰謀。その事件の内容も、誰が真の被害者で誰が本当の悪なのかもわからぬまま、事件に首を突っ込んだ彼を、得体の知れない恐怖が襲い始めた。

最近も「ブレイクアウト」「ストリート・ファイター」「軍用列車」と次から次に新作に挑戦し、休むまもない売れっこスター、チャールス・ブロンソンが久々のミステリー・アクションに本領を發揮すれば、「アメリカの夜」「オリエント急行殺人事件」で今や人気最高の美人スター、ジャクリーン・ピセットも、胸のすくようなガン・プレイを見せて、待望の初共演をもりあげている。他にマクシミリアン・シェル、ジョン・ハウスマンというアカデミー賞受賞の2大スター、「ダーティハリー」のハリー・ガーディノ、「ナイト・ムーブス」のハリス・ユーリン、「シェーン」のエライシヤ・クックなど申しぶんのない演技派・個性派の名優を揃え、見応えタップリのサスペンス・ミステリーを展開している。

原作はオリバー・ブリークの同名小説で、それをバリー・ベッカーマンが脚色し、「ナバロンの要塞」「マッケンナの黄金」の名匠J・リー・トンプソンが監督している。音楽は「燃えよドラゴン」「ダーティハリー」などアクション映画音楽の第一人者ラロ・シフリンが担当。古くは「誇り高き男」「昼下りの決闘」最近でも「ワイルドバンチ」「ゲッタウェイ」「ジュニア・ボナー」などを手がけている名手シエン・バラードのカメラがロサンゼルスでの現地ロケに偉力を發揮して、現代アメリカの大都会の明暗を、あざやかにとらえている。(上映時間 1時間35分)

*ストーリー

長かった新聞記者生活から足を洗い、探偵小説家となったセント・アイブス(チャールス・ブロンソン)の所へ、思いもよらぬ儲け仕事がかかり込んできた。大富豪アブナー・プロケイン(ジョン・ハウスマン)が盗まれた5冊の元帳を10万ドルで犯人たちと取引することにしたので、彼の代理人として元帳を受けとってきてほしいという依頼があったのだ。仲介料は1万ドル。簡単な仕事のように思えた。だが、犯人たちの指定の場所に待っていたのは男の死体。通りがかりの警官に見始められて連行されてしまった。記者時代の知り合いの警部のおかげで、すぐに釈放されたものの、それからは何処へ行くにも警察の尾行につきまといられる有様。さらに間の悪いことに行く先々に殺人事件が起こり、危険はいつしか彼の身にもふりかかってきた。彼に襲いかかる男たちが犯人なのか?それとも単なる物盗りなのか?セント・アイブスの周辺は、ただならぬ謎と巨大な陰謀の影が渦を巻き始めた。

プロケインが彼の助手としてつけてくれたジャネット(ジャクリーン・ピセット)の協力で、どうにか犯人たちと元帳の取引ができたが、元帳は最も重要な4ページが抜きとられていた。プロケインはジャネットとお抱えの精神分析医ジョン・コンステブル博士(マクシミリアン・シェル)をまじえて、セント・アイブスに驚くべき事実を打ち明けた。元帳にはプロケインのこれまでの盗みの全記録が書き込まれており、抜きとられた4ページには「ある航空機会社が、外国の政府高官に贈る莫大な賄賂を強奪する綿密なプランが記されている」というのだ。プロケインはプロの大泥棒だったのである。

啞然とするセント・アイブスに、プロケインは仲間に入らないかともちかけた。そしてその体験を小説にしろという話に興味を持ったセント・アイブスは彼らの仲間に入ることを承知した。——そして計画実行の日、意外な男たちが彼らのプランに割り込んできた。その男たちこそ元帳の4ページを抜きとった犯人である。凄絶な追跡の末、男たちはジャネットに撃ち殺された。プロケイン計画は見事に成功したかのようにみえたが、そこにまた意外なドンデン返しがあった。……



7月31日(土) 奇ロードショー

特別鑑賞券 ¥900

〈一般1200円 大学生1100円 女の〉発売中

渋谷東急文化会館5階

渋谷東急

(407)
7029

連日 11:10 1:10 3:10 5:10 7:10